



羽鳥学区コミュニティ

14の行政区と共に一ひとが輝くまちづくりをー

こころふれあう羽鳥の会

- 広報誌ふれあい - 第47号

今回のTOPIC

発行日 令和8年3月31日 発行責任者 会長 藤田友子



TOPIC 01

11/16防災フェスティバル開催@羽鳥小

422名が参加！コミュニティ全体で防災体験や楽しいアトラクションを通じて、防災への理解と意識を高めました。

詳しくは2ページへ



TOPIC 02

1/20第3回ふれあいサロン（健康講座）

美味しいお茶とお菓子を囲んで和やかなサロンに。皆で和気あいあいと健康づくりについて学びました。

詳しくは2ページへ



TOPIC 03

2/13新春ふれあいバスツアー（日立）

日立市の御岩神社やプラネタリウム、おさかなセンターへ！見聞を広める充実の視察となりました。

詳しくは3ページへ



市長ごあいさつ

小美玉市長 島田 幸三

藤田会長をはじめ、会員の皆様には、日頃から住みよいまちづくり推進のためご尽力いただき、心よりお礼申し上げます。

さて、皆様の暮らしをより良くするための課題解決には、まちづくり活動を促進することがとても重要であります。そして、まちづくり活動を活性化するには、普段の地域住民同士の連携や、担い手の後進育成などが必要不可欠となってきています。

そのような中で貴会におかれましては、地域住民の交流促進事業として「ふれあいバスツアー」や「ふれあいサロン」を開催し、更に「防災フェスティバル」や「防災通信」等で、地域防災力向上のための啓発活動を展開するなど、幅広く地域のために活動されておりますことに敬意を表する次第です。

このような活動の積み重ねにより、世代を超えた住民の絆を強め、活力ある地域づくりや住民同士の連携強化が図られることと思います。羽鳥学区がより住みよい地域へと推進されますことを大いに期待しております。

本市といたしましても、今後ともより良い魅力的な小美玉市を皆様と共に築いてまいりたいと考えておりますので、引き続きのご理解と力強いご協力をお願い申し上げます。

今回のTOPIC

11/16 防災フェスティバル



東日本大震災から15年が経過し、いつどこで大規模な災害が発生してもおかしくありません。地域の繋がりが減少・縮小している現在、「コミュニティとして何が出来るか？」という問いに対する、ひとつの答えが、「防災」を通じた顔の見える関係づくりだと私たちは考えます。当日は422名もの方々にご参加いただきました。楽しみながら防災意識を高める機会となれば幸いです。

休日にも関わらず、本イベントの開催にあたり、多大なるご協力をいただいた関係団体の皆様に心より深く感謝申し上げます。

コミュニティと防災。 その役割と使命を考える

1/20第3回ふれあいサロン

～(株)明治の健康講座～



ふれあいサロンは、楽しく勉強しながらお話ができる場です。美味しいお茶とお菓子を囲めば、自然と会話も弾んで心も体もリラックスできますよ。「ちょっとお茶しに行く」ような気軽な気持ちで、家から一歩出てサロンへ遊びに来ませんか？皆様のご参加を心よりお待ちしております！





学ぶ・笑う・絆を深める～茨城の魅力を再発見～

今年の新春ふれあいバスツアーは、日立市へ行ってまいりました！パワースポットとして名高い御岩神社を参拝し、その後はプラネタリウムで美しい星空を見学。お待ちかねの昼食は、道の駅日立おさかなセンターで新鮮な海の幸を堪能しました。

地域の皆さまが家から外へ出る機会を創り、楽しく交流しながら見聞を広めることが、このツアー最大の目的。いくつになっても、新しい場所へのお出かけや、おしゃべりを通じた交流は心と体の元気に繋がります。これからも、皆で楽しみながら学べる企画をお届けしてまいります。若い方から幅広い世代の参加をお待ちしています。

防災通信の発行

羽鳥地区防災士会と合同で区会加入世帯に全戸配布。

このふれあい街路祭の夜、羽鳥地区防災士会広報誌

防災通信

2025.1 第4号

毎年の活動や防災情報をお届けします
羽鳥地区防災士会は、このふれあい街路祭の夜、羽鳥地区防災士会と合同で区会加入世帯に全戸配布しています。

防災通信の発行
防災通信の発行は、毎年12月1日に羽鳥地区防災士会が主催する「ふれあい街路祭」の夜、羽鳥地区防災士会と合同で区会加入世帯に全戸配布しています。

市議会での防災通信の発行
市議会での防災通信の発行は、毎年12月1日に羽鳥地区防災士会が主催する「ふれあい街路祭」の夜、羽鳥地区防災士会と合同で区会加入世帯に全戸配布しています。

秋から春は要注意！ 火災から命を守るには？

1年を通じて火災が起きやすいのは、暖房器具を使う頻度が高い秋から春までとされています。この時期は空気が乾燥するため火災リスクが高く、さらに風の強い日はほんの少しの火の勢でも大きな火災につながります。日々できる防火対策について紹介しますので、ぜひ参考にしてください。

住宅火災の主な原因

- たばこ
- たき火
- ロソク
- 電気機器・配線
- ストーブ

その他には、ガスコンロの火災も増加しています。

自宅でできる火災対策

- たばこは定期的に確認する
- ロソクは定期的に確認する
- ストーブの燃やりに注意する
- 調理中はコンロのそばから離れない
- 寝たばこをしない
- 子どもへの防災教育

もしも火災が起きたら？

- 大きな声で周囲に知らせる（119番）に連絡する
- すぐに逃げよう火は初期消火する
- 煙を吸わないように低い姿勢で避難する

その他活動報告①



12/13 クイズウォークラリー支援 (青少年を育てる小美玉市民の会羽鳥支部)

羽鳥東区から GOODニュース！

～公民館にAED・防犯カメラを設置～



地域の安全力UPへ

この度、羽鳥東区の公民館に「防犯カメラ」と「AED」が設置されました。AEDは、いざという時に、地域の皆さまが、お互いの命を助け合うための大切な切り札です。

こころふれあう羽鳥の会は、情報を周知・啓発するとともに、このような各区の先進的な活動を、支援してまいります。14の行政区が力を合わせて「ひとが輝くまちづくり」をともに目指してまいります。

協力員募集！

ちょっとのお手伝いが、まちづくりの力になる

こころふれあう羽鳥の会では、イベント前日の設営や当日の運営をサポートして下さる「協力員」を募集しています。「役員は時間が取れなくて難しいけれど、地域のために少しだけなら……」という方、大募集です。

今年度はすでに3名の方がエントリー、現場で大活躍いただいています。無理のない範囲で構いませんので、ぜひ二次元コードからお気軽にご登録ください！ ※本当に助かっています。ご応募、お待ちしております。

[ここからアクセスできます→](#)



SNS紹介 公式Instagram稼働中です

「こころふれあう羽鳥の会」の公式Instagram (@HATORI_COMMUNITY) が元気に稼働中です！ 広報誌には載せきれないイベントの裏側や、まちづくり情報をリアルタイムに発信しています。

まずは二次元コードからアクセスして、お気軽に「フォロー」と「いいね！」をお願いします。各種イベントの案内や予約も最速で行っています。

[ここからアクセスできます↑](#)

Instagram



@HATORI_COMMUNITY

羽鳥駅のホームから

今号から思い切って、紙面をリニューアルしてみました。良いか、悪いが、AIやCanvaを使うと人間ひとりの限界を軽く超えていってしまうなあとしみじみ。ただ、文章を作成する、という行為だけは人間たる尊厳がAIを上回っていると信じています。ご感想お待ちしております！（広報担当：鬼田）

本会の活動は、皆様方の会費（一世帯200円/年）及び小美玉市からの補助金で運営しています。ご協力ありがとうございます。